

# め た せ こ い あ

## 小泉八雲が大切にした「オープンマインド」

校長 河井 俊彦

卒業式で、朝のNHK連続テレビ小説『ばけばけ』にちなみ、小泉八雲とセツの生き方に触れながら式辞を述べました。アイルランドから遠く離れた日本に渡り、言葉も文化も異なる地で、なぜ彼は人々に受け入れられ、日本の心の奥深い美しさを見出すことができたのか。その答えは、小泉八雲が生涯大切にした「オープンマインド」にあると話しました。違いを恐れず、未知のものを否定せず、まず心を開いて向き合う姿勢がいかに大切か。吉賀の自然に囲まれた三年間で育んだ粘り強さと対話する力を胸に、これから出会う多様な価値観にも「なぜだろう」と問い続けてほしいと伝えました。吉賀で培った「開かれた心」が、未来を切り拓く力になることを願い、卒業生へエールを送りました。



## 1

### 第53回島根県高等学校写真展

2月6～8日にグラントワで開催された島根県高校写真展に写真部員6名の作品が展示されました。

この作品展は、島根県内の高校の写真部の活動を知ってもらおうと、毎年開かれていて今回が53回目になります。

2月2日まで松江市の県立美術館で、2月6日からは、会場を益田市のグラントワに移して開かれました。



## 2

### サクラマスフェス



2月7日、六日市体育館でサクラマスフェス2026が開催され、町内の「人づくり」「つながり」と取り組みや思いを持ち寄り、地域の教育力の今や現在地を確認しあうとともにこれからの吉賀町を考える会となりました。

今の吉賀高校がどのような構成で、何を目指しながらどのような活動をしているのか、どのような吉高生を育てていくのかなど、地域に発信していくブースを出展しました。

# 3

## 郷土料理講習会

2月10日、3年生の生徒が卒業を前に吉賀町の食材を使い、吉賀町民に受け継がれてきた料理の作り方と食の大切さを学びました。管理栄養士さんや保健師さんを始め、吉賀町食生活改善委員のみなさんから、吉賀町の伝統文化を継承する体験となりました。



# 4

## ドイツ留学生紹介



吉賀高校に新しい仲間が加わりました。2月から7月まで一緒に学ぶ留学生で、関根仁奈さんといいます。ドイツでは陸上競技部に所属していましたが、他の部活動にも興味があり、色々なことに挑戦したいそうです。ドイツ語はもちろん、英語や日本語も話せます。吉賀高校の仲間として授業や学校行事など共に楽しみましょう。

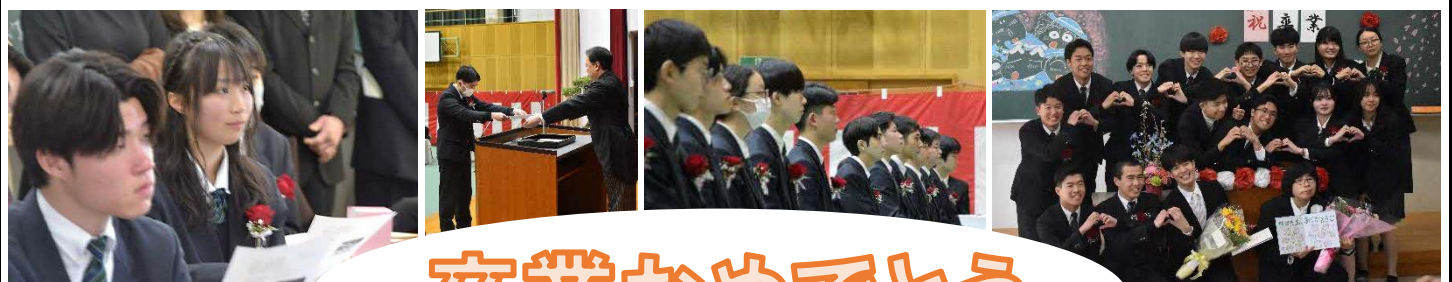
# 5

## 卒業式

3月1日、本校体育館にて卒業証書授与式を挙行了しました。3年1組14名、3年2組21名の合計35名が卒業を迎えました。送辞は2年1組の江谷羽絆さん（生徒会副会長）、答辞は3年1組の齋藤琉晟さん（前生徒会長）が務め、それぞれの想いを述べました。



吉賀の豊かな山々に囲まれ、共に笑い学んだ日々は、皆さんの確かな糧となっただけです。高津川の清流のようにしなやかに、「メタセコイア」のように真っ直ぐ、自らの道を切り拓いてください。町を離れる人も、残る人もここで育んだ絆は一生の宝物です。皆さんの未来が春の陽光のように輝かしいものであることを、心より願っています。



**卒業おめでとう**

